

第 2 回 予算決算委員会

令和6年2月27日（火） 5 階 議場	開 会 14 時 10 分 閉 会 14 時 19 分
------------------------	--------------------------------

午後2時10分 開会

○委員長(棚町 潤君)

みなさまお疲れ様です。。

ただ今から、令和6年第2回予算決算委員会を開催します。

○委員長(棚町 潤君)

それでは、これより本委員会に付託されました議案の審査を行います。

議第22号 令和5年度瑞浪市一般会計補正予算（第13号）を議題といたします。

なお、説明後の質疑にあたっては、一度に複数の質疑は行わず、一問ごとに簡潔な発言をお願いいたします。

本案について、執行部の補足説明を求めます。

社会福祉課長 和田光浩君

○社会福祉課長(和田光浩君)

それでは、一般会計補正予算第13号につきましてご説明いたします。

補正予算説明書4ページをご覧ください。

3 款 民生費 1 項 社会福祉費 1 目 社会福祉総務費は、1 億500万円を増額し、補正後の額を6 億1,419万3 千円 とします。

説明欄をお願いします。

物価高騰対応重点支援給付金給付事業（均等割世帯分）8,270万円 は、物価高騰に対する低所得者支援として、世帯員全員が課税者から扶養されていない令和5年度の住民税均等割りのみ課税世帯を対象に10万円を給付する扶助費と、その事業に係る事務費で、800世帯への給付を想定しております。

次に、物価高騰対応重点支援給付金給付事業（こども加算分）2,230万円は、物価高騰が低所得子育て世帯に特に深刻な影響を与えていることから、現在給付中の住民税非課税世帯及び、今回の均等割りのみ課税世帯への給付加算として、18歳以下のこども1人あたりに5万円を追加給付する扶助費とその事業に係る事務費で、400人、約190世帯への給付を想定しております。財源は両事業ともに、全額国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金です。

議案集32ページをご覧ください。

両事業ともに、今年度内での事業完了が見込まれないことから、全額の繰越明許をお願いするものであります。

また、今回の補正につきましては、早期に事業着手し給付を開始したいため、本日も審議いただくものであります。

以上 社会福祉課所管分の補正予算説明とさせていただきます。

○委員長(棚町 潤君)

ご苦勞様でした。ただ今の説明に対し、質疑はありませんか。

13番 榛葉利広君。

○13番(榛葉利広君)

住民税非課税世帯の方に関しては既に給付されていると思いますが、ここに出てきたということは住民税の均等割のみ課税されている方という考え方ですけど、これは調べて時間をかけなければ抽出できないので遅れているということでしょうか。

○委員長(棚町 潤君)

社会福祉課長 和田光浩君。

○社会福祉課長(和田光浩君)

非課税世帯に対しての事業と均等割のみ課税されている事業につきましては、国より後から均等割のみに給付する施策が出てきた関係で時期がずれていると考えています。

○13番(榛葉利広君)

分かりました。

○委員長(棚町 潤君)

ほかに、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、他にないので、質疑を終結いたします。

○委員長(棚町 潤君)

それでは、これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、討論を終結いたします。

○委員長(棚町 潤君)

これより採決を行います。お諮りします。

議第22号 令和5年度瑞浪市一般会計補正予算(第13号)は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

したがって、議第22号は、原案のとおり可決されました。

○委員長(棚町 潤君)

以上で、本委員会に付託された議案の審査は、終了いたしました。

審査結果の委員長報告につきましては、委員長に一任願います。

○委員長(棚町 潤君)

これをもちまして、令和6年第2回予算決算委員会を閉会いたします。

おつかれさまでした。

午後2時19分 閉会